



秋田をこくする建設人

Vol.10

オペレーター・  
道路維持管理

鈴木 和也さん(40代)  
万六建設(株)【仙北市】  
キャリア 22年



「道路のことなら俺に聞け！」  
胸を張って言える  
エキスパートを目指して



秋田市と盛岡市を結ぶ国道46号は、文字通り秋田県を横断する地域の大動脈。この国道の秋田県側の維持管理を行っているのが万六建設の鈴木和也さんだ。「汗のかける仕事が好き」と飛び込んだ建設業でキャリアを積み、今は地域の暮らしを守る仕事に責任とやりがいを感じている。

### 仕事の「やりがい」は？

作業していると沿道の住民の方が声をかけてくれます。やはり直接「ありがとう」と言ってもらえると力が出ますね。小さなことの積み重ねですが、道路の補修や除雪、管理を通じて地域の安全と暮らしを守るのに貢献できているなと思うと、やりがいを感じます。入社4年目、新潟県に\***砂防災害復旧工事**のため長期出張した際に、建設業は地域の暮らしを支えていると強く実感しました。自分の仕事が「誰かのためになっている」という気持ちは、やりがいにつながっている気がします。

### 仕事で大切にしていることは？

安全第一で作業を進めることですね。安全に対する意識は、自分ひとりが気を付けているだけではダメです。危険予知活動のリーダーとして、気づいたことは事前に共有して、現場でも臨機応変に対応するようにしています。そのために重要になるのが、コミュニケーション。安全面だけでなく、作業を円滑に進めるためにも大切です。うまく連携が取れないと、時間内に終わられず迷惑をかけるだけでなく、暗くなって事故を起こす確率も高くなります。全員が共通の認識をもって作業にあたっているかどうかは常に気にしています。

### これから挑戦したいことは？

資格取得などを通じて、自身のスキルアップを図っていきたいですね。機械オペレーターや除雪オペレーターとしても仕事をしていますので、機械についての知識や技術を身につけたいと思っています。あとは、舗装などの技術だったり、道路そのものの知識だったり…いい仕事をするためには勉強が欠かせません。将来は「道路のことならなんでも俺に聞け」と胸を張って言えるような、道路維持管理のエキスパートになりたいですね。

キャリアアップ

CAREER UP

2000年  
入社

2005年(6年目)

2級土木施工管理技士  
取得

\*新潟県中越地震の  
災害復旧工事に携わる



2015年(16年目)

1級土木施工管理技士 取得

今後は1級建設機械施工管理  
技士や、舗装診断士などの資  
格取得に挑戦予定

### ココロに残っているプロジェクト

\***砂防災害復旧工事**  
(2004年/新潟県)

新潟県中越地震の災害復旧のための砂防えん堤工事。長期間の出張のため慣れない環境で苦労もあったが、道路以外の現場で様々な工種を経験したことで、自身のスキルのベースとなった。



鈴木 和也さんの  
もうひとつの  
物語

### 家族の絆は「バスケット」

学生時代はバスケット部に所属して汗を流していたという鈴木さん。以前は家族で地元のバスケットチームの試合を見に行くことも多かったそう。現在は、娘さんがバスケット部で頑張っていることもあり、週末は練習試合や大会で忙しい。さぞかし熱が入ってサポートしているかと思いきや、「いや、そんなことないですよ。バスケットをやっているだけで嬉しいので」と、控えめ。後ろから見守りながら、何か困っているときに相談に乗るのが鈴木さん流の応援だそう。どこか鈴木さんの仕事に対する姿勢と重なって見えた気がした。

